ボーリング柱状図

調　査　名　京都府民ステーション（仮称）整備事業地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo.										

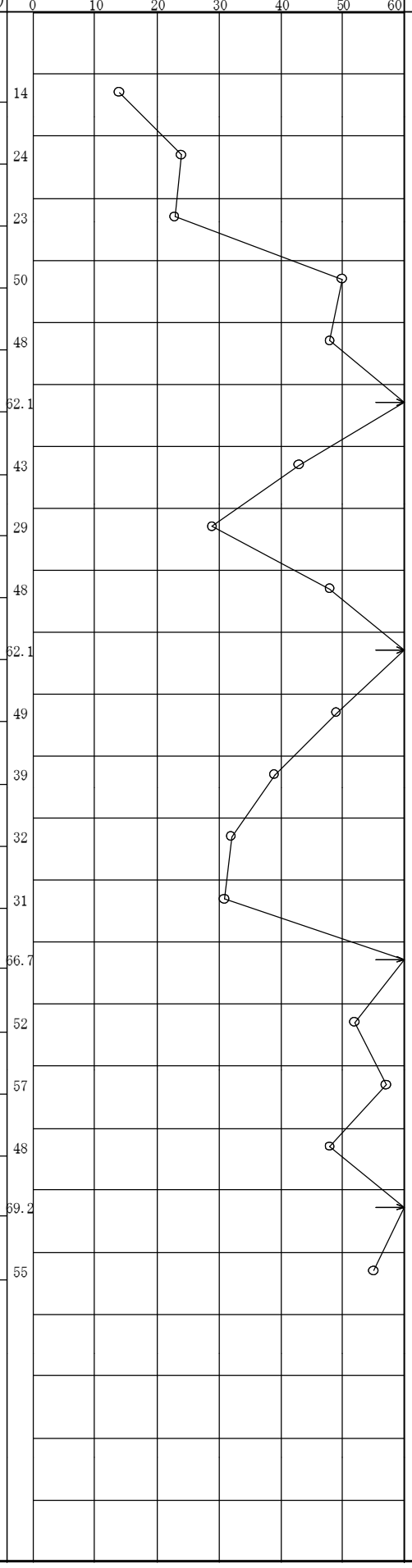
シートNo.

ボーリング名	No．2	調査位置	京都市下京区烏丸通七条下る東塩小路町702-2,702-3,702-5,707-2					北緯	34° 59’ 20″
発注機関	京都府総務部府有資産活用課			調査期間	平成 25年 2月 21日 ～ 25年 2月 25日			東経	135° 45’ 34″
調査業者名	株式会社　関西土木技術センター 電話（075-641-3015）	主任技師	菅井　知宏	現場代理人	梅林　豊	コア鑑定者	梅林　豊	ボーリング責任者	安井　勝人
孔口標高	H=28.91m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機：東邦D1-B　ハンマー落下用具：半自動落下
総掘進長	20.50m								エンジン：ヤンマーNFD-13　ポンプ：東邦BG-3C

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1					盛土・砂礫	灰～赤褐～暗褐灰	中位		表層20cmまでコンクリート。 コンクリートの下部にφ50～150mmの栗石混在。 0.20～1.30mはレンガが主体で、下部に砂質粘土を挟む。 1.30～2.00mはφ20～40mmの礫が主体で、細～粗砂が混入する。 含水低位。	
2	26.91	2.00	2.00							
3					砂礫	暗褐灰	中位～非常に密な		φ20～30mm程度の亜角礫～角礫主体。 細砂が混入する。 φ50mm程度の礫が点在する。 4m付近より礫分が多くなる。 全体に漏水する。 含水低位。	2/25 5.65
4										
5										
6										
7	21.91	5.00	7.00							
8					粘土混じり砂礫	暗灰褐～暗褐	中位～非常に密な		φ10～20mm程度の亜円～亜角礫主体。 中～粗砂が混入する。 φ40mm程度の亜角礫が点在する。 全体的に少量の粘土分を含む。 含水中位。	
9										
10										
11										
12										
13	15.61	6.30	13.30							
	15.21	0.40	13.70		礫混じり砂質粘土	暗褐		硬い	細～中砂が混入する粘土。 φ2～10mmの礫が混在する。 含水低位。	
14					粘土混じり砂礫	暗灰褐～暗褐	密～非常に密な		φ2～20mmの亜円～亜角礫主体。 中～粗砂が混入する。 φ40mm程度の礫が点在する。 全体的に少量の粘性土分を含む。 含水低～中位。	
15										
16										
17										
18										
19										
20	8.41	6.80	20.50							
21										
22										
23										
24										

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	4	4	6	14／30	14
1.45 2.15	7	8	9	24／30	24
2.45 3.15	7	8	8	23／30	23
3.45 4.15	10	17	23	50／30	50
4.45 5.15	16	16	16	48／30	48
5.45 6.15	15	20	25／9	60／29	62.1
6.44 7.15	13	14	16	43／30	43
7.45 8.15	10	9	10	29／30	29
8.45 9.15	15	18	15	48／30	48
9.45 10.15	20	20	20／9	60／29	62.1
10.44 11.15	18	15	16	49／30	49
11.45 12.15	14	13	12	39／30	39
12.45 13.15	15	12	5	32／30	32
13.45 14.15	8	10	13	31／30	31
14.45 15.15	18	22	20／7	60／27	66.7
15.42 16.15	17	17	18	52／30	52
16.45 17.15	15	15	27	57／30	57
17.45 18.15	15	15	18	48／30	48
18.45 19.15	21	27	12／6	60／26	69.2
19.41 20.15	11	15	29	55／30	55
20.45					



原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						2／21
						2／22
						2／25